

# 三重県立熊野古道センターからのてがみ

## "The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

### 2011.春号

通号 No.18



## 紡がれていく “森の守人”の系譜

春、“熊野”の山々は、みどりがいっぱいです。この瑞々しいみどりは、長い年月をかけて木々を植え、育て、守ってきている林業家のみなさんによる日頃の努力の結晶でもあります。



尾中さんの立ち皮剥の様子 (撮影:田岡 穂積さん)

熊野古道に春がやってまいりました。熊野古道周辺の山々はみどりでいっぱいです。

熊野古道周辺を含め、紀伊半島一帯の山々の多くが人々の手によって植林された林業地帯です。このみどりは、林業に従事されている方々の常日頃の手入れによって保全されているといえます。林業家のみなさんはいわば“森の守人”と言えるでしょう。

林業は、スギ・ヒノキで少なくとも30～50年もの長い年月をかけ、やっと材木として出荷できるという、息の長い生業です。父や祖父が植えて育てた木々を伐り、子や孫の世代を見越して植林し、守り育てるといふ長期的な視野が必要な産業です。熊野市五郷町湯ノ谷という山深い土地で林業を営んでらっしゃる尾中鋼治さんも、“森の守人”と呼ばれるのにふさわしい人物です。

表紙の写真の「立ち皮剥」は、数年前に尾中さんご自身が作業されている時の様子です。ほんの短時間ですると木に登り、手際良く木の皮を剥いていきます。かつては屋根に葺くのに欠かせなかった杉皮はこのようにして作られているのです。

尾中さんの旧宅「かやの木館」は杉皮によって葺かれています。東紀州まちかど博物館としても登録されており、事前予約で見学もできます。別棟には山仕事で実際に使っ

いた道具も展示されており、先祖代々熊野の森を舞台に暮らしてきた悠久の歴史を語ってくださることでしょう。

さて、春めいてきた3月5日。熊野古道センターでは「熊野古道センター自然学校 樹木と仲良くなろう!」を尾鷲市教育委員会との両主催で開催いたしました。「いきいき尾鷲っ子」に参加している尾鷲市内の小学生を対象に、熊野古道センター周辺の樹木にふれあうイベントでした。

実際に山に入り、多くの木々と向き合って自然を相手に奮闘する林業家のみなさんには及びませんが、木々にふれあい学び感じた子ども達も、山に植えられた苗木のようにこれからすくすく育っていく小さな“森の守人”といえましょう。

森のみどりと人々の暮らしが調和した形が、何十年何百年と受け継がれて時代を紡いでいってくれるといいですね。

熊野古道センターでは、4月23日から6月26日にかけて企画展「熊野・森の暮らしと道具」を開催します。熊野の森と暮らしの関わりを、実際に使っていた“道具”を中心に展示します。

熊野の森はみどりで一杯です。みどりを感じ、木々とのふれあいにおどかしてみたいかがでしょうか。



ドングリ拾ったよ

ドングリをやじろべえ作ったよ



「手づくり工房・ワイワイ」の代表として町のイベントやボランティア活動に従事しています。約15年5ヶ月の期間、介護ヘルパーとして病院や老人介護施設で高齢者の方達に関わらせて頂きました。戦後の大変な時期を過ごされた方々の辛い体験や不自由な生活を強いられた話も沢山聞かさせて頂き、今こうして好き気ままに過ごさせてもらっている幸せをつくづく噛みしめている私です。

92歳で他界した姑の「納得いく人生を、人に喜ばれる事を。」と、いつもつぶやいていた言葉に励ましと勇気を貰い、何かお役に立てる事が出来ないだろうかと考えていました。



熊野古道からのてがみ

18 通目

「手づくり工房・ワイワイ」の代表として町のイベントやボランティア活動に従事しています。約15年5ヶ月の期間、介護ヘルパーとして病院や老人介護施設で高齢者の方達に関わらせて頂きました。戦後の大変な時期を過ごされた方々の辛い体験や不自由な生活を強いられた話も沢山聞かさせて頂き、今こうして好き気ままに過ごさせてもらっている幸せをつくづく噛みしめている私です。

次は紀北町の立花まきさん



いたに みえこ 井谷 三枝子さん (紀北町) 手づくり工房ワイワイ代表

町外から嫁いで来た人たちの「紀北町に来て良かった。元気な町にしよう……」と言う意気込みにも、元気を貰っています。「ここに住んで良かった。」と言える満足感と納得いく人生を送りたいと願っています。ぜひ私達のお店「手づくり工房・ワイワイ」をのぞいてみてください。そこには、笑いが渦巻いていますよ!!

## 花尻 薫からの季節のたより No.18 「筏師も見た 北山川の溪流沿いの植物」

三重県と和歌山県・奈良県の山深い県境を流れ、熊野川へと注ぎこむ“北山川”の川面にも初夏の草花が顔を出す陽気となりました。北山川の急流には、様々な植物が出現しています。しかし、筏を流す急流・激流の厳しい環境に耐えるため、水面の近くだけに生育できません。こうして、気の遠くなるような永い年月を河川の表面で頑張っているうちに、地上の植物とは茎も葉も花も変化して、元の姿とは思えない植物になりました。



ドロニガナ

洪水がおきても流されないため川の表面の最上部に生育するようになり、

雨量によって増水量が変化して水位が低下しても枯れない。そういうふうな環境に適応してきたのです。

岩場の割れ目にしっかりと根を張り、激流に葉がもまれないうよう、しなやかに流れに沿うため流線型となり、出来るだけ葉を少なくしています。その分、葉の質はしっかりしています。枝は水の流れに沿うように水面に平行に波を打っています。



ドロシモツケ

このような北山川の植物は植物の専門家からも大変貴重であると評価されていますから、大切に守りましょう。

### センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

**お母ちゃんのランチバイキング**  
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
料金: 中学生以上 ……1,200円
子供 ……700円
乳幼児 ……無料
60歳以上 ……1,000円

### みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00
入浴料: 一般 ……600円
65歳以上 ……500円
4歳~小学生 ……300円
4歳未満 ……無料

### お風呂がかりは、カフェまったり!

営業時間: 9:00~21:00 (ラストオーダー20:30)



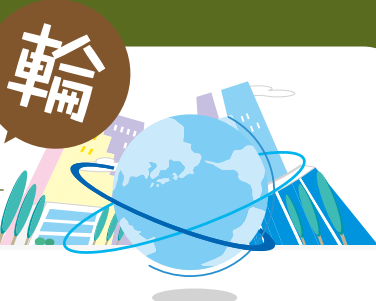
●お車でお越しの方は…  
国道42号線で尾鷲市内→矢の浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車でお越しの方は…  
■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車  
■松阪駅  
→南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)

### ☆熊野古道センターニュースレター☆ “熊野古道センターからのてがみ 2011年春号”

- 発行日:2010年3月25日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:高野
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumano-kodocenter.com HP http://www.kumano-kodocenter.com/
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日 (その他メンテナンス時休館)

60000110325MT



平成19年2月の開館から4年を過ぎ、北海道から九州まで遠方から来館される方、そしてさらに遠く、海外からのお客さんも次第に増えてきたことを実感します。みなさんはどこで熊野古道や当センターのことを知ったのでしょうか。

現在はインターネットを利用して情報を収集する方が多いかと思えます。当センターでもオープンからホームページを開設しており、熊野古道伊勢路のコース紹介やセンターの建物・アクセス・イベントなど情報が盛りだくさんです。

その他スタッフブログやツイッターなども利用して、その時咲いている植物や、地域色あふれるお祭り、天候など東紀州の旬な情報を提供しています。最近では、海外のお客さんにも熊野古道の魅力を伝えるべく、英語版のページを新たに開設しました。

熊野古道センターの開催イベントに興味をお持ちの方は、ぜひメールマガジンにご登録ください。ホームページのトップから簡単にご登録いただくことができます。募集が始まったらすぐに定員が埋まってしまうような大人気教室の情報もいち早く得られ、「しまった、申し込み忘れた～」なんてこともきつと少なくなることでしょ。

これからも熊野古道センターでは、様々な媒体を通じて、皆さんに楽しくてちょっとだけ(?)ためになる情報をお届けしてゆきたいと思えます。

熊野古道センターのホームページをご覧ください。

トップページから、メルマガの登録ができます。

他にも除法満載! ブログの閲覧等もできます。

熊野古道センター公式ホームページアドレス <http://www.kumanokodocenter.com/>

熊野古道センター 検索

「熊野古道健康ウォーキング」

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

心と体が『健康』であればこそ、いつまでも元気で、若々しくいられるもの。

世界遺産・熊野は、いにしえから「黄泉廻り(蘇り)の地」として人々の信仰を集めてきました。その巡礼道のひとつ『熊野古道』は、かつて「蟻の熊野詣で」と呼ばれるほど、多くの人々が癒しと祈りを求めて歩いた道。今も、神秘的な森林やのどかな田舎の風情に、あちこちで出会うことができます。

その『熊野古道』で元気に「健康づくり」にチャレンジしてみませんか。あふれる『自然』と奥深い『文化』から蘇りのパワーをもらう、癒しのプログラム「熊野健康ウォーキング」。

神々が宿る神秘的な熊野エリアで「熊セラピスト」と呼ばれる癒しの健康案内人と、歴史文化を継承する「語り部」が同行しながらの熊野古道ウォークをしてみませんか。

森や川、滝や温泉など、熊野がもつ自然環境を最大限に活かして、あなたの健康づくりをサポート。水の音や花の香りといった五感を刺激する熊野の自然に大いなる力を感じてください。

「熊野古道ウォーキング」は、森林や河川、滝や温泉など自然を活かした健康法の一つで、ドイツでは100年以上前から「地形療法」として親しまれています。熊野古道を歩くことでストレスホルモンが減少し、免疫力もアップ。適度な凹凸やアップダウンは脚力アップにも効果的。木漏れ日の中では、自律神経機能が正常に働き、さらにリラックス効果も感じられます。地形療法の4要素は「冷刺激」「太陽光線」「可視光線」「清浄な空気」。熊野古道ウォーキングは、地形療法の要素をすべて含んでいるので、より健康効果が高まります。

熊野古道が心身へ及ぼす健康効果について、科学的な検証調査が行われました。なかでも注目されるのは、体に優しい自然環境の実証。安全性においてもウォーキング時に平均心拍数が90拍程度と安定し、気になる紫外線量も森の中では、平地公園の日なたと比べ50分の1。ストレス軽減や免疫力アップなど、生理的・心理的な効果も認められています。

(和歌山県SLOW STAY「熊野健康村構想」報告書より)



小笠取越ウォーク (講師-小和瀬)

詳しくは、熊野で健康ドットコム <http://www.kumano-de-kenko.com/> をご覧ください。

和歌山県世界遺産センター

和歌山県田辺市本宮町本宮100番地の1 世界遺産熊野本宮館内  
TEL:0735-42-1044 FAX:0735-42-1560



詳しくは、<http://www.sekaiisan-wakayama.jp/> をご覧ください。

イベント情報

Event Info.

企画展 「熊野古道伊勢路のおもてなし～“旅する人”と“迎える人”の交流～」

宿泊や休憩場所を提供し、食事を作り、時には行倒れた人を介抱するなど、西国巡礼や熊野参詣を目指した巡礼者の旅は、沿道の住民によって支えられてきました。

今回の展示では旅人を迎え入れた地域の側に焦点を当て、熊野古道伊勢路で今日まで続いてきた“旅する人”と“迎える人”との交流の歴史を、宿屋、茶屋、食など各テーマで紹介します。

日時:平成23年2月5日(土)～4月10日(日) 入場料:無料  
午前9時～午後5時 会期中無休 場所:企画展示室



マクロの解体ショーin熊野(復元展示)

企画展 「熊野・森の暮らしと道具」

三重県東紀州を含む熊野の土地は、日本でも有数の林業地帯です。古くから良質な材木を産出する地域として知られ、各地で林業に関わる人々の暮らしが見られます。一口に林業といっても様々な営みがあります。木を育てる、伐る、運ぶ、製材する、建てる。また、炭焼き・杉葉線香・木地師など、木材の利用方法は数多くあります。

熊野の森を舞台に生活している人々の使用していた道具を中心に、熊野の森と人々との関わりの様子に迫ります。

日時:平成23年4月23日(土)～6月26日(日) 入場料:無料  
午前9時～午後5時 会期中無休 場所:企画展示室



木馬道



材木を運ぶ

付属イベント1 森の講座と体験教室  
「森の暮らしのお話と尾鷲ヒノキのクラフト教室」

尾鷲市賀田の林業家・浜中良平さんをお迎えして、森と人々の暮らしとの関わりについてをお話していただきます。また、午後はNPO法人海虹路のヒノキアート教室です。森の暮らしの歴史や文化を学べるだけでなく、ヒノキアート教室で木々のぬくもりに触れてみませんか。

日時:5月29日(日)午後1時～午後4時  
場所:熊野古道センター  
定員:小学生以上30名(要申込)  
講師:浜中良平氏(林業家)・NPO法人海虹路

付属イベント2 新しい古道の歩き方  
「筏師の古里・北山川の筏下り」

かつて木材運搬は河川を利用した筏流しが全国的に行われていました。なかでも熊野川に流れ込む「北山川」は、大台山系の豊富な水量と急峻な地形によって筏流し専門で生計をたてていた「筏師」が沢山いました。現代の筏師の操縦テクニックに身を任せ、楽しんでみませんか?

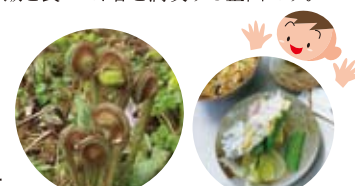
日時:6月12日(日)午前9時～午後2時予定  
場所:和歌山県北山村(北山村観光センター集合)  
定員:20名(要申込・75歳以下で健康な方に限ります。)  
参加料:6,500円(筏乗船料・昼食・温泉入浴料含む)

体験学習

4/16(土) 春の野山の植物観察会

野山を散歩して鳥のさえずりを耳にし、草花が誇らしげに咲いてくる季節に、熊野古道センター周辺の野山にて春の草花や小さな生き物などを観察し、ついでに野草のアツアツ天ぷらや山菜ご飯を食べて、春を満喫する企画です。

◇時間:午前9時～午後1時  
◇場所:熊野古道センター周辺  
◇定員:小学生以上30名(要申込)  
◇参加料:500円  
(保険料・食材費等を含む)  
◇主催:熊野自然学校・三重県立熊野古道センター



5/7(土) 磯で遊ぼう 海辺の自然学校

春の大潮は一年のうちで最も潮がひく時期です。井内浦海岸の潮だまりでは、ヤドカリ・カニ・エビ・ハゼなどの小さな魚がたくさん観察できます。ご家族そろって、初夏の磯遊びを楽しみましょう。

◇時間:午後0時30分～3時  
◇場所:熊野市磯崎町(井内浦農村公園駐車場集合)  
◇定員:小・中学生とその保護者20名(要申込)  
◇参加料:500円(保険料含む)  
◇主催:熊野自然学校・三重県立熊野古道センター



月別ひのきアート教室

地元の特産品・尾鷲ヒノキの間伐材やヒノキシートなどを使って楽しむ、ものづくり教室です。

◇日時:4月24日(日) 壁飾り  
5月22日(日) キーホルダー  
6月26日(日) うちわ  
すべて 午後1時～4時  
◇場所:体験学習室  
◇参加料:各1,000円程度  
◇定員:各10名(要申込)  
◇講師:NPO法人海虹路会員



毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室

すべて事前申込不要!! 来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・つる細工・木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。

◇時間:午後1時～3時受付  
◇場所:交流ロビー  
◇参加料:200円～1,500円(申込不要)  
◇講師:NPO法人海虹路会員、川端一氏、大形弥生氏、畑中昇氏(週替わり)



その他の展示

平成22年度 熊野古道フォトコンテスト入選・入賞作品展

熊野古道センターにて開催した「平成22年度熊野古道フォトコンテスト」にて、とっておき部門(四つ切)約400点、お気軽部門(L判)約180点のなかから、栄えある最優秀賞・優秀賞・入選に選ばれた作品をお披露目します。

◇場所&日時:熊野古道センター / 3月21日(月・祝)～3月27日(日)  
熊野市文化交流センター / 3月30日(水)～4月10日(日)  
◇入場料:無料



特別展示室の展示

4/9(土)～8/26(金)

シャガール絵画と大野典子花器展  
第2代尾鷲市長を務めた岩城梯氏の長女で「国際生け花協会」創設者の大野典子さんと交友のあったマルク・シャガールの版画などを展示します。



尾鷲市中央公民館郷土資料室での展示の様子。